

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	施設間ネットワークを用いた PET 脳解析手法の検討
研究責任者	阪原晴海
研究機関名	浜松医科大学 浜松 PET 診断センター
研究目的と意義	FDG-PET は癌だけでなく認知症の診断にも役に立ちますが、画像を正しく解釈するために、多くの正常と思われる方の FDG-PET 画像と比較する方法があります。この研究では癌の診断を目的として行われた FDG-PET のデータを集積し、認知症の診断補助の仕組みを作ります。うまくいけば、PET を持っているどこの病院でもこの仕組みを利用してより正確な認知症診断ができるようになります。
研究期間	西暦 2015 年 11 月（倫理委員会承認後） ～ 2018 年 3 月
研究方法	<p>●対象となる患者さん： 浜松医科大学医学部附属病院で FDG-PET 検査が行われた患者さんのうち、CT や MRI で脳に異常が認められず、神経疾患や精神疾患を有さない患者さん</p> <p>●研究に使用する試料： FDG-PET 画像データ</p> <p>●研究方法 FDG-PET 画像データを名前が特定できない状態にして浜松 PET 診断センターに送ります。浜松 PET 診断センターではこのデータをもとに正常と考えられる標準的な FDG-PET 画像を作成します。認知症の患者さんが先進医療で FDG-PET 検査を受けられた場合、やはり患者さんを特定できない状態にして画像を送ると、浜松 PET 診断センターではどの部位がどの程度標準的な脳と違っているか計算して、その結果を当院に送り返します。当院ではこの結果をもとの FDG-PET 画像や臨床症状と一致しているか、検討します。将来 FDG-PET が認知症の診断に保険適用を受けるようになった時に、今回作成した標準的な FDG-PET 画像を使わせていただく可能性があります。</p>
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：放射線診断科 担当者：阪原晴海 TEL：053-435-2240 FAX：053-435-2241 E-mail：sakahara@hama-med.ac.jp